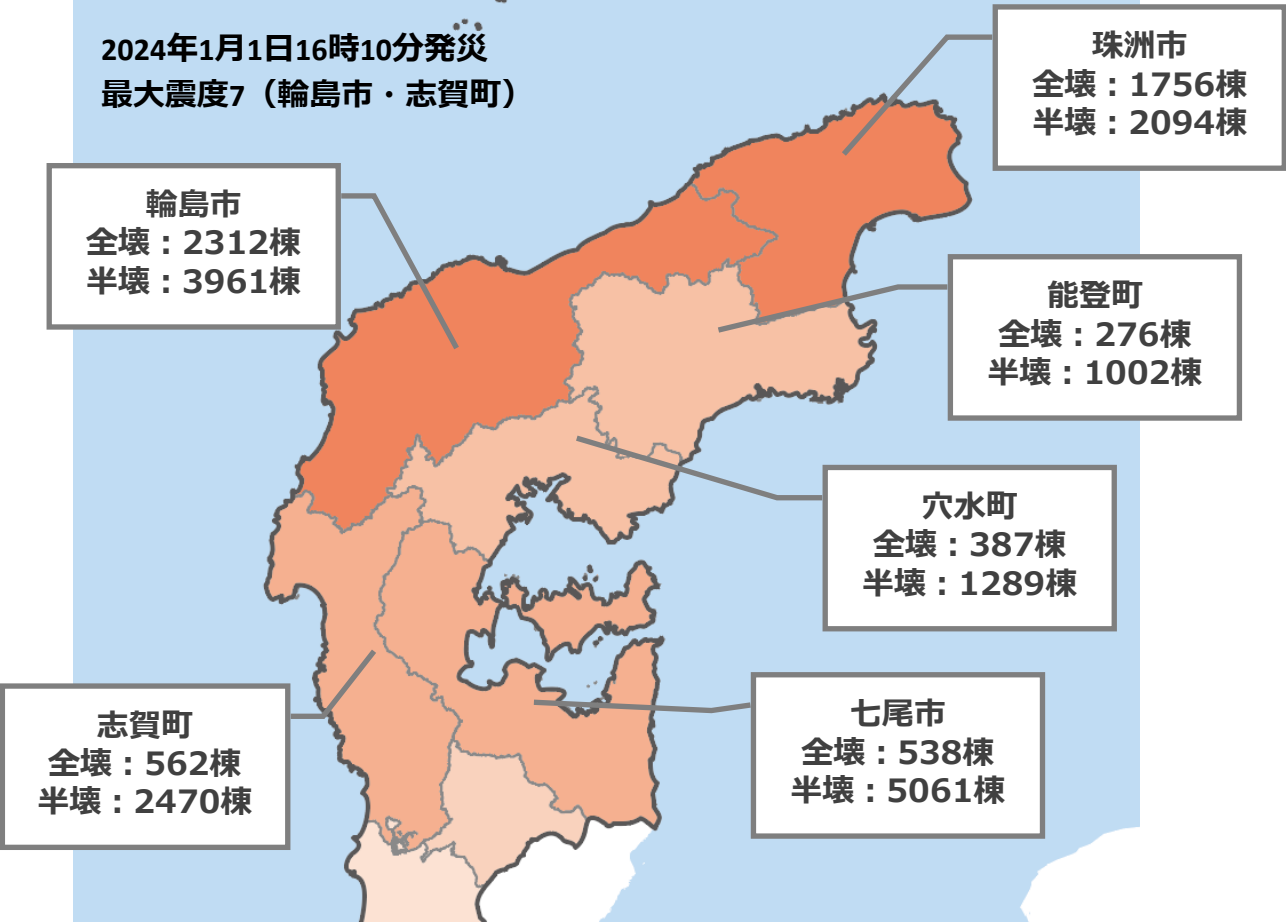


2026/10/30

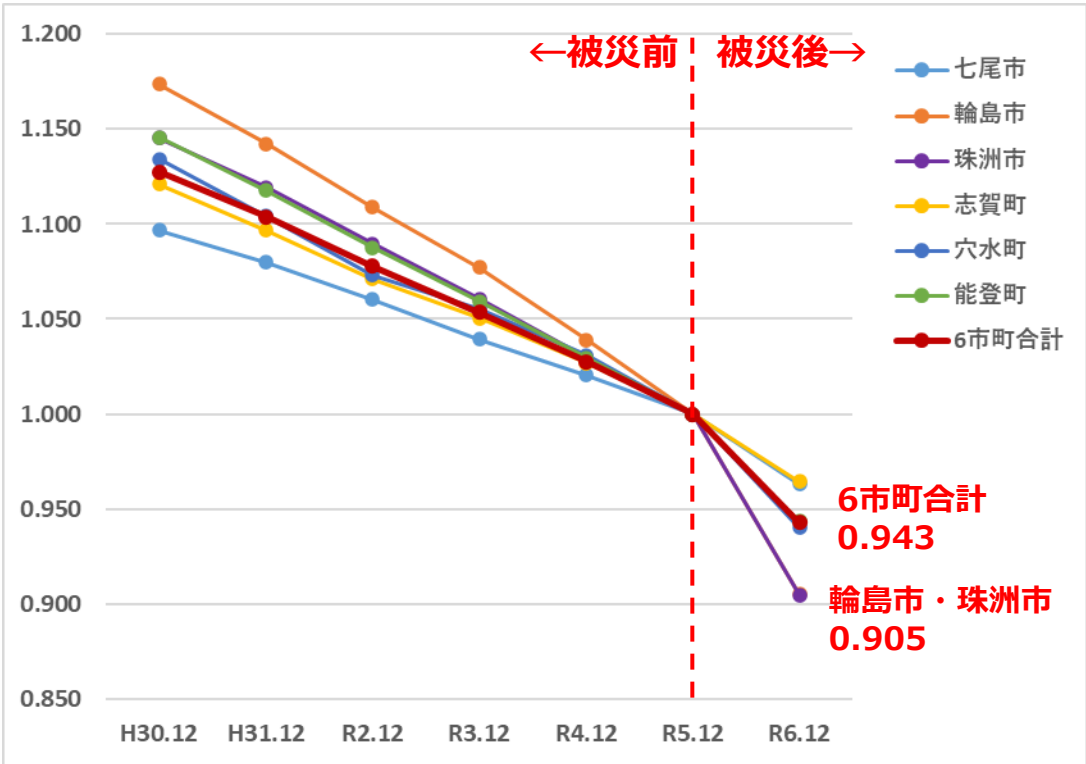
地震により大きな被害を受け、人口減少が加速する能登半島の各自治体

能登地域6市町における能登半島地震での住戸被害状況



石川県「令和6年能登半島地震による人的・建物被害の状況について（第203報令和7年4月30日14時00分現在）」より作成

震災前（R5.12月）を1としたときの能登6市町の人口推移



6市町合計の人口推移（人）

	H30.12	H31.12	R2.12	R3.12	R4.12	R5.12	R6.12
6市町合計	140,656	137,694	134,461	131,419	128,165	124,744	117,626

石川県ウェブサイト「住民基本台帳の人口」より作成

公費解体により変化するまちの風景

進む公費解体

石川県内の解体見込棟数（39,235棟）の
57.3%（22,485棟）の解体が完了（2025年3月末時点）



多くの被災家屋が解体され、空き地が増加。

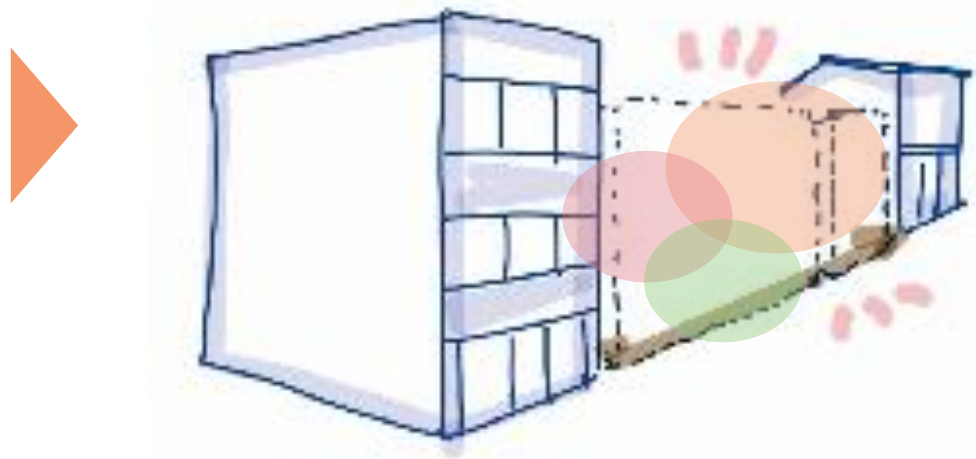
人口流出が重なり、

空き地の多くは所有者が遠隔地におり、活用まで時間を要し、
その間に荒廃していく恐れがある。

放置された空き地は、 まちに“寂しさ”を感じさせ、
地域の活気を損なう要因になることが懸念されている。

空き地の暫定利用が必要

将来的な土地利用を妨げないように配慮しつつ、
地域に暮らす人々が空き地を利用することで
活気ある新しい風景が生まれる。



公費解体で生じた空き地を

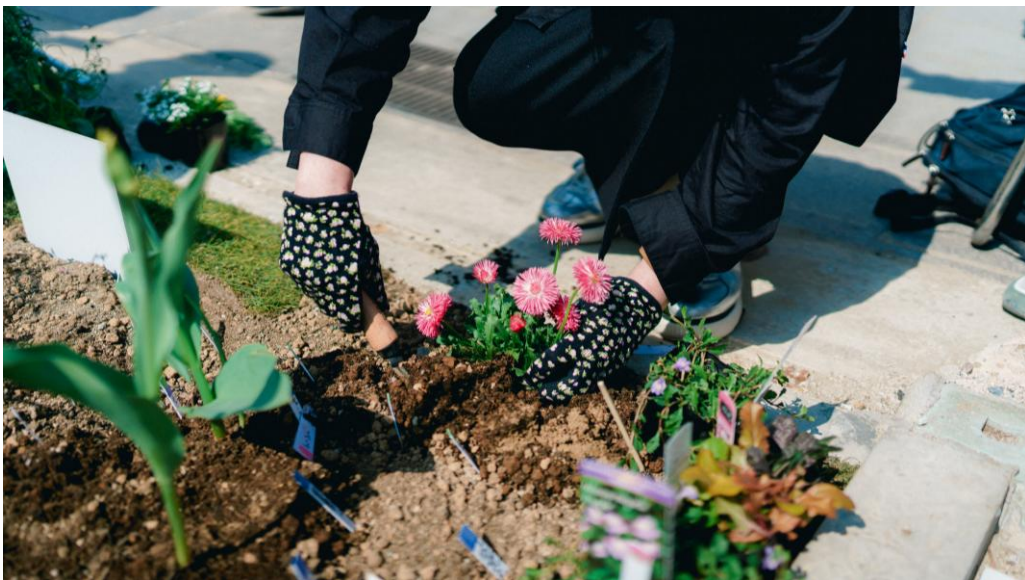
地域の人々の手で

彩り豊かな憩いの場所に

地域住民が空き地に花を植え、つながりを深める憩いの場をつくることを応援！

「一人一花 in 能登半島」の3つの目的

- ① 復興の過程で生まれた空き地を放置せずに活かすこと
- ② 地域の人々のつながりを深めること
- ③ 全国から応援を集め、能登の来訪につなげること



アンバサダー： 常盤貴子さん（俳優）

常盤貴子さんは、被災前から能登の文化や風景に深い関心を持ち、被災後も何度も能登に足を運んでいらっしゃいます。2025年3月から毎回ガーデンづくりに参加していただき、住民の方々と一緒に花を植えました。



2025年3月に第1号ガーデンを開設！

2026年10月時点で能登半島3市4町で24か所のガーデンが完成！



①でか山見附ガーデン



②出会いの一本杉ガーデン



③輪島市門前



④いちごいちえんガーデン



⑤穴水町甲



⑥風と光のふるさと Garden Karaco



⑦まーちゃんガーデン



⑧まちかどHappyガーデン



⑨志賀町草木



⑩かみまちガーデン



⑪宇出津つなぐガーデン



⑫能登島っ子仲よしガーデン



⑬おすずみガーデン



⑭でぐらガーデン



⑮左近殿山ガーデン



⑯西岸駅前ガーデン



⑰東浜ふれあいガーデン



⑱池田浜ガーデン



⑲うみかぜガーデン



⑳そよ風ガーデン・まちの



㉑くるくるガーデン



㉒ふーちゃんガーデン



㉓のと三井ガーデン



㉔登町よりあいガーデン

第2号 「出会いの一本杉ガーデン」 (七尾市)

場所：七尾市一本杉通り商店街 仮設商店街向かい
完成日：2025年4月30日



花植え完成後のガーデン
(2025年5月)

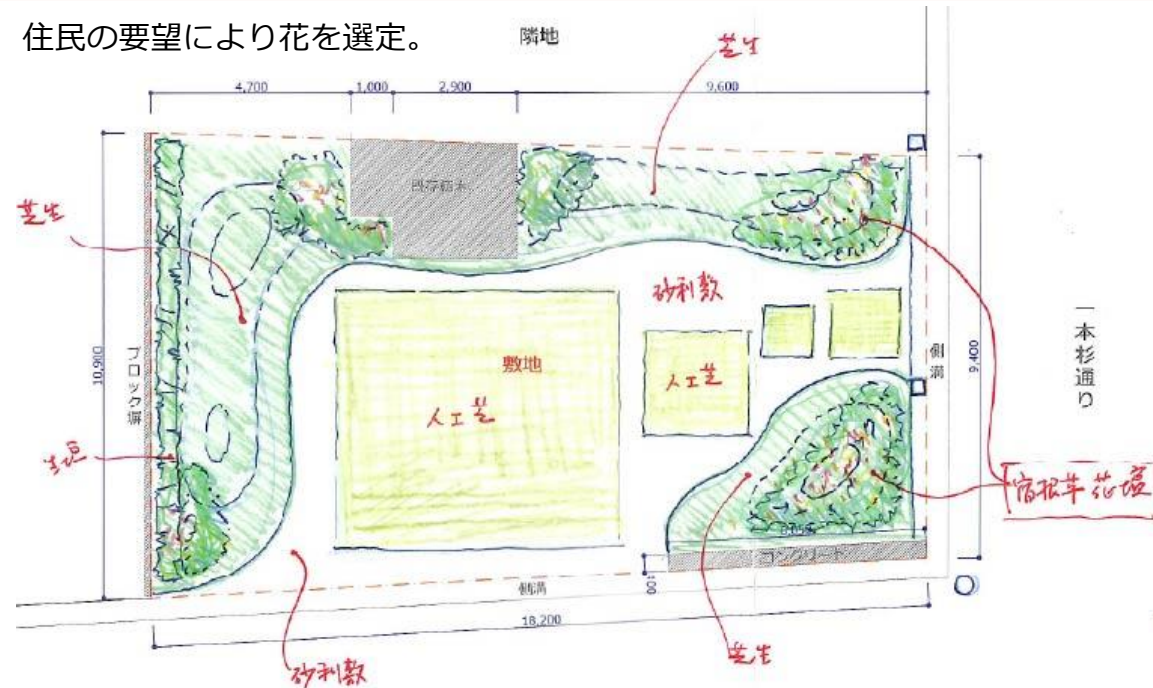


被災した建物
(2024年2月)



公費解体の様子
(2024年11月)

住民の要望により花を選定。



一人一花の発祥である福岡市と「福岡から能登へ花と復興の応援の集い」を開催



福岡市高島市長が復興の応援にかけつけてくださりました。

官民連携した活動を目指し、七尾市茶谷市長、輪島市坂口市長、志賀町稲岡町長、石川県高橋総務部長も参加されました。

+ 第22号「ふうちゃんガーデンKaraco」+ 第6号「風と光のふるさと Garden Karaco」

場所：穴水町下唐川地区
完成日：2026年6月30日



福岡市から穴水町へ移設

Gold Award・Best Construction Award
(最優秀施工賞) 受賞

福岡フラワーショー2026のガーデンコンテストにて最高賞にあたるゴールドメダルを受賞された藤井宏海さん（一人一花in能登半島実行委員会ガーデンサポートチーム）の作品から、茅葺き小屋とデッキの一部を移設して利用しています。移設後、ガーデン内の通路には被災により発生した能登瓦のチップを敷き詰めたり、小屋の茅葺きをふき直してガラス浮き玉で固定したりと、下唐川の住民が中心となってアレンジしたガーデンになっています。

場所：穴水町下唐川地区
完成日：2025年5月15日



所有者が集落を離れ住宅が解体された跡地にガーデンを整備。古材を利用したベンチや小川も。



第1号ガーデンの花植えイベントの様子。



2025/3/22 : 花植え直後のガーデン



2025/4/1 : 9日後のガーデン



2025/4/22 : 1か月後のガーデン



2025/11/4 : 約7カ月後のガーデン



2026/8/9 : 約1年半後のガーデン

専門家による花々の計画と地域住民の管理により、はなやかな花壇が維持されている。

ガーデナーの方々の現地訪問や座談会での管理ノウハウの共有も実施。

第6号 「風と光のふるさと Garden Karaco」

地域住民でバーベキューを楽しむ交流スペースとして利用されている。またこの地域は星空がきれいなので、地域住民でつくったデッキに腰掛けて、星天を眺めるスペースとしても利用されている。



第15号 「左近殿山ガーデン」

石崎奉燈祭のときは、キリコ観覧スペースとして、だれでも自由に入ることができる。ガーデンがオープンスペースの役割を果たし、居心地良く祭を楽しむことができる。

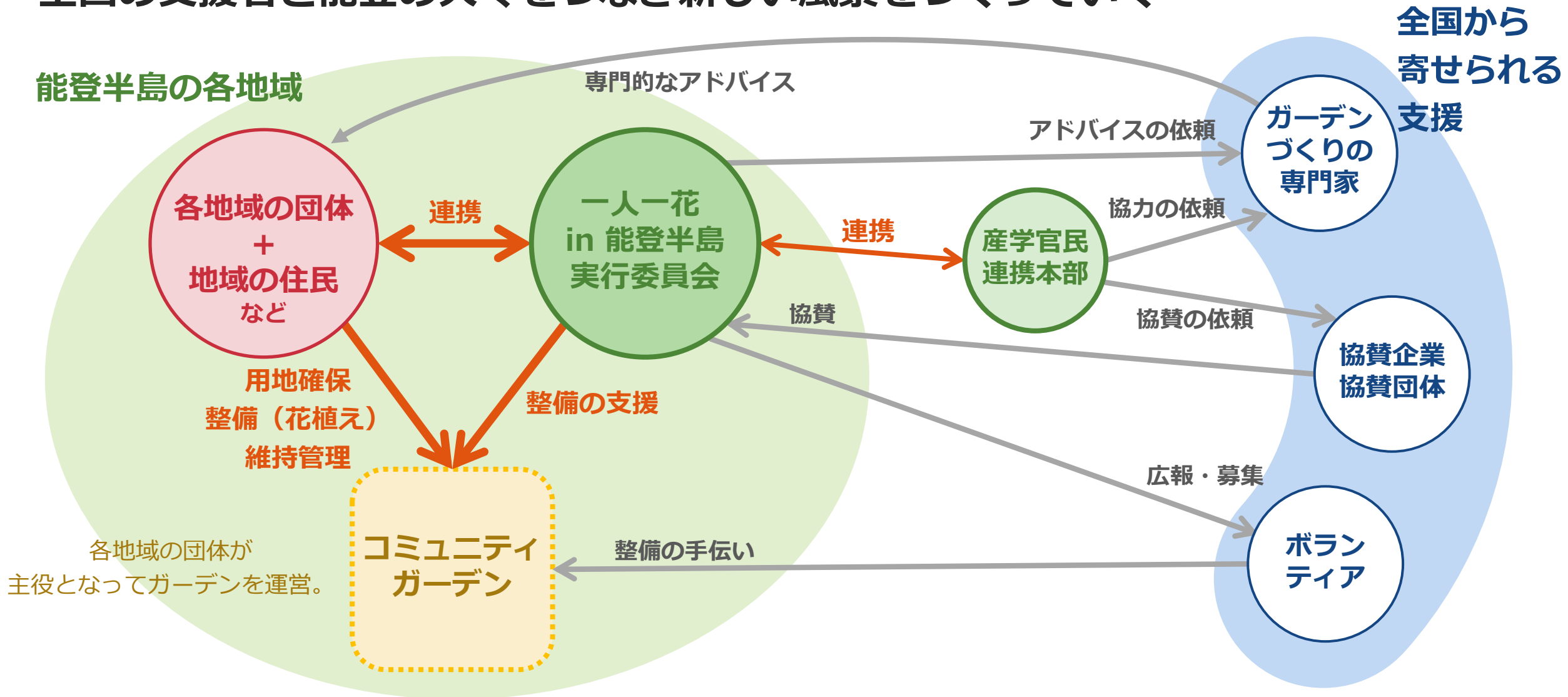


第24号 「登町よりあいガーデン」

お花植えイベントのオープニング、楽器を演奏できる地域住民が集まり、演奏会を行った。震災によってうまれた解体空き地が、地域住民の手によって音楽とお花に包まれ、心落ち着く空間となった。



全国の支援者と能登の人々をつなぎ新しい風景をつくっていく



能登半島各地の多様な立場が連携する実行体制

- ・ 実行委員会の役員には、被災市町の首長、商工会議所会頭・商工会長、建築・ランドスケープ分野の学識者などが名を連ねています。
- ・ 現場感と専門性をあわせ持つ多様な立場の連携で運営していきます。

実行委員会の役割：

能登半島の各地域の団体の活動と

全国から寄せられる支援を結びつける

プラットフォーム的な役割

産学官民連携本部の役割：

実行委員会と連携し、全国の専門家や行政機関、企業・団体に協力や協賛を呼びかけ、持続性を担保する役割

様々な団体との一層の連携を今後進めていきます



アンバサダー
常磐貴子（俳優）

被災前から能登地域に深い関心を持ち、震災後も何度も訪問。「人が集まるきっかけを、花からつくりたい」という熱意を持って参画。

一人一花 in 能登半島実行委員会

役員

代表

岡田翔太郎（岡田翔太郎建築デザイン事務所）

幹事

茶谷義隆（七尾市長）
坂口茂（輪島市長）
泉谷満寿裕（珠洲市長）

稲岡健太郎（志賀町長）
吉村光輝（穴水町長）
吉田義法（能登町長）
菊地正寛（氷見市長）

杉野哲也（七尾商工会議所会頭）
刀祢秀一（珠洲商工会議所会頭）
寺岡才治（富来商工会会長）
南哲郎（志賀町商工会会長）

杉木勉（能登鹿北商工会会長）
高木作之（穴水町商工会会長）
沢田隆（門前町商工会会長）
新谷伸一（能登町商工会会長）

鈴木正俊（のと共栄信用金庫顧問）
田代克弘（興能信用金庫理事長）
寺西清悟（JA能登わかば代表理事組合長）
藤田繁信（能登農業協同組合代表理事組合長）
神田美佐子（内浦町農業協同組合代表理事組合長）

監事

高取千佳（東京大学准教授）
片桐由希子（金沢工業大学准教授）
荒木笙子（岩手大学准教授）
益邑明伸（工学院大学助教）

槻橋修（神戸大学教授）
鶴飼哲矢（九州大学教授）

一人一花 in 能登半島 産学官民連携本部

代表

鶴飼哲矢（九州大学教授）

中村貴久（元福岡市役所）
近藤加代子（九州大学教授）
山本正秀（やまやコミュニケーションズ社長）
河邊太郎（久原家事務取締役）
伊東健太郎（西久大運輸倉庫社長）
西嶋友和（やまやコミュニケーションズ社長室長）
松尾隼矢（九州電力都市開発事業部）
石川伸
（おとうふ工房いしかわ社長・高浜商工会会会頭）
神原知明（元やるばい九州代表）
深見波留香（ポストン代表）
田原直（道の駅もつくる新城駅長）
鈴木文三郎（角文社長・刈谷商工会議所副会頭）
神谷友人（角文常務）
長谷川幸生（日本国土開発執行役員）
川邊浩司（日本国土開発名古屋支店）
新川兼史（佐藤工業建築営業部長）
佐々木幸之輔（大日本タイヤ）
森藤正浩（正栄産業代表取締役）
東一寛（クロダハウス代表取締役）
川口智廣（全国古民家再生協会副理事長）

専門家

ト部仁美（&green株式会社 社長）
徳永哲（一般社団法人まちにわ 理事／風景デザイン研究所 株式会社STEP 代表取締役）
藤井宏海（一般社団法人まちにわ 理事）
池田美奈子（Edit-and-Design編集者・デザイン研究者）
竹中ゆき奈（small d）
野口雄太（福岡大学助教）
酒井美帆（株式会社中村緑地建設）
曾根岡紀子（グリーンフィンガーズ）
池田慶子（Moon green 月と緑）
木村 愛（OneFlower/福岡花いっぱいプロジェクト）
清水 亮史（一般社団法人にわむすび）
金子昌弘（庭連会長）
森口和也（庭連理事）
松井 崇真（庭連）
岩田 朱理

① 人々が楽しめるコミュニティガーデンを支援



- 開かれたコミュニティガーデンとすることで、住民や来訪者が日常的に利用できます。
- 将来的な土地利用を妨げないよう配慮しています。

② 支援のかたちが風景として目に見える



- 公共の支援が入りにくい私有地も含め、民間の支援によって“花”を咲かせることで支援の効果がまちの風景として現れ、支援が実感できます。

③ 地域の住民組織と連携



- ガーデンの整備にあたっては、利用や管理を主に担う、地域の主体が存在するかを確認して支援を行います。
- 地域の方たちが楽しんで活動できるように地域の特性にあったガーデンをつくることを心掛けています。

④ プロのガーデナーによる助言



- ガーデンに植える花の選定や植え方は植栽の専門家が監修し、管理についても助言を行うことでガーデンの持続性をサポートします。
- ガーデナーの方々の現地訪問や座談会での管理ノウハウの共有を行います。

⑤ 人口減少下の空地活用の先進モデルに



- 人口減少時代において、空き地の活用は多くの都市で共通の課題です。
- 一人一花 in 能登半島の取組は、地域に暮らす住民によって空き地の活用・管理を進めるモデル事例として展開していくことが期待できます。

⑥ 点在するガーデンをつなぐ『一人一花交換手帖』アプリ



各ガーデンの御朱印看板



(1)御朱印スタンプを集める



(2)各ガーデンの投稿ができる

(ガーデン巡りを楽しむツールとして)

(コミュニケーションツールとして)

まずアプリをダウンロード



↑iOS



↑アンドロイド



東洋大学の学生グループ「こもれび」さんが開発したアプリです。

「一人一花 in 能登半島」プロジェクトは、当プロジェクトの趣旨に賛同し、協賛してくださる企業・団体を募集しています。

協賛の方法は以下の2つよりお選びいただけます。

① 個別のガーデンへの協賛

個別のガーデンの整備・維持のために使わせていただきます。

② 「一人一花in能登半島」プロジェクトへの協賛

活動を広く展開していくために使わせていただきます。

協賛していただいた場合には、
個別のガーデンの看板（①の場合のみ）、
ウェブサイトや広報物に企業名・団体名を掲出します。

ご協賛してくださる企業・団体の担当者の方は、
協賛申込書に必要事項を記入いただき、
hitorihitohana.noto@gmail.com へご連絡ください。



個別ガーデンでの掲示イメージ

① 個別のガーデンへの協賛

角文株式会社 様（愛知県）
日本国土開発株式会社 様（東京都）
U-ARCHITECTS 様（愛知県）
株式会社クロダハウス 様（金沢市）
新日本製薬株式会社 様（福岡県）
やまや コミュニケーションズ様（福岡県）
Anshin Projctct（九州電力×SandBoxConnections）様（福岡県・石川県）
株式会社FOR LIFE 様（福岡県）
前田建設工業株式会社 九州支店 様（福岡県）
有限会社BOSTON C 様（福井県）
正栄産業株式会社 様（富山県）
にっぽん応援ツーリング 様
株式会社 梶谷建設 様（小松市）
株式会社宗重商店 様（金沢市）
角文安全協力会 様（愛知県）
みづほ工業株式会社 様（金沢市）
大同生命保険株式会社 金沢支店 様（金沢市）
福島印刷株式会社 様（金沢市）
荏原商事株式会社 北陸支社 様（金沢市）
大日本ダイヤコンサルタント株式会社 北陸支社・九州支社 様（富山県）
野村證券株式会社 金沢支店 様（金沢市）
明祥株式会社 様（金沢市）
能登農業協同組合 様（穴水町）
株式会社サイト 様（福岡県）
岡崎信用金庫 様（愛知県）
株式会社UMAHANA 様（神奈川県）
株式会社しんきんリース 様（金沢市）
一般社団法人全国古民家再生協会 様（東京都）
野々市ロータリークラブ 森づくり同好会 様（野々市市）
フコクしんらい生命保険株式会社 様（東京都）
豊橋信用金庫 様（愛知県）
碧海信用金庫 様（愛知県）
三菱UFJ銀行金沢支店兼金沢中央支店 様（金沢市）
株式会社GCIアセット・マネジメント 様（東京都）
医療法人正栄会 堀眼科医院 様（愛知県）
株式会社 表屋 様（愛知県）
瀬戸信用金庫 様（愛知県）

② 「一人一花in能登半島」プロジェクトへの協賛

株式会社国土開発センター 様（金沢市）
竹腰永井建設株式会社 様（白山市）
山海建設株式会社 様（加賀市）
三井住友信託銀行株式会社 様（東京都）
株式会社 福光屋 様（金沢市）
山崎機工株式会社 様（富山県）
金沢機工株式会社 様（金沢市）
アフラック生命保険株式会社 様（金沢市）
NTT西日本株式会社 北陸支店 様（金沢市）
ライオンズクラブ国際協会横浜みなとマリンドライオンズクラブ 様（神奈川県）
のと共栄信用金庫 様（七尾市）
埼玉縣信用金庫 様（埼玉県）
七尾ライオンズクラブ 様（七尾市）
国際ロータリー第2610地区 富山第4グループ 様
白半建設株式会社 様（愛知県）
北陸電力株式会社 珠洲営業所 様（珠洲市）

合計：53社の協賛企業さま



個別ガーデンでの掲示イメージ

「一人一花 in 能登半島実行委員会」は、全国から寄せられる支援を各地域の活動につなぐプラットフォームとして機能し、能登半島の各地域の団体と外部支援のマッチングやノウハウ共有、特にガーデン立ち上げ段階の整備支援、地域外のボランティアの募集・派遣、運営支援などを行います。

団体の名称：一人一花 in 能登半島 実行委員会（任意団体）

団体の事務局の所在地：石川県七尾市一本杉町3

代表者の氏名：岡田 翔太郎

TEL：0767-57-5954

E-mail：hitorihitohana.noto@gmail.com

Website：<https://hitori-hitohana-noto.com/>

Instagram：

https://www.instagram.com/hitori_hitohana_noto/